

第5回 高1英語

総評

今回の試験では、リスニング、文法・語法、英作文、長文読解など多様な形式で出題し、基本的な文法・語法の知識から表現力・読解力・記述力がどの程度ついているかを試すことで、総合的な英語力を測っている。制限時間に対する演習量が多く、厳しい内容になってはいるが、プレステージを受験する難関大の志望者であれば、高校1年生のこの時期に、これだけの問題に対応できる実力をしっかりつけてほしい。また、模試なので得点差がはっきり出るよう、設問によっては部分点を排除し、かなり厳しく採点している。得点を見て落ち込んでしまうかもしれないが、これから何を重点的に復習すれば自分の英語の総合力が伸び、得点が上がるかを知ることのできる絶好のチャンスなので、大問ごとの出来や誤答の内容をきちんと確認して、今後の学習につなげよう。

問題別講評・採点基準

1 リスニング

英文の放送が始まる前に設問に目を通す時間を設けたので、注意して聞くべきキーワードやポイントをあらかじめ予測しておく取り組みやすい。ディクテーション以外の設問は、満点を取る生徒も見られた。聞き取りにくかった箇所については、解答解説の放送内容を音読して復習しておこう。

問題A

英問英答形式の設問であるため、聴き取る力以外に速読力も求められる。

(3) 間違えた生徒が比較的多く、誤答では圧倒的に a が多い。ユキとアヤの関係、高校でどのクラブに入っているかなどの情報を正しく理解しよう。

問題B

「野菜工場」に関する説明文。野菜工場についてニュースなどで見たことがある人にはある程度イメージがわいて解きやすかったかもしれない。

Part 1

(1) 誤答では d が多い。単独で見ると合っているような内容でも前後に合うものを選ぶ。

(4) 誤答では b が多い。野菜工場では、棚を何

段も積み上げることで収穫量を増やすことができるのだが、読み上げ文では racks of shelves あたりの聞き取りがやはり難しく感じられたのだろう。

Part 2

ディクテーション問題。スペリングミスや時制のミスは、単語の抜けや聞き間違い同様、配点分の減点とした。ディクテーションでは、語彙や文法の知識で減点が避けられる場合があるので、文法には自信がある人もここで間違えていた場合は見直しが必要である。また、既知の単語でも、音声ではうまく聞き取れないものについては音読の練習もすること。

(1) start の部分で set や stop とした誤答が多いが、前後の文脈から想像力を働かせて stop のような語は入らないと考えてほしい。また、正しい文にするには、主語 it も忘れてはいけない。

(2) not の短縮形は、最後の [t] がほとんど聞こえないため can との区別が難しい。profit は単語自体になじみがなかったようで、perfect や profect (存在しない語) などが見られた。

2 文法・語法

(3) 誤答では、a の needs to fix がほとんど。needs to be fixed であれば正解。need の目的語として不定詞か動名詞かで意味が能動・受動になるという違いがあるので注意しよう。

(4) 誤答では d の have you been marrying がほとんど。未来の時点についての会話であることに注意して選ぼう。

(8) では疑問文に mind が使われていることに注意が必要。a Yes, I will が圧倒的に多かった。

3 英作文

問題A 整序英作文

語彙・文法の正確な知識と、それらを組み合わせ、条件に合った内容を英文で正しく表現する力を問うた。

(1) (believes this study) worth spending ~としたものが目立った。ここだけを見れば 'believe + O+C' の型 (to be の省略) で成り立つが、選択肢の to と be はここで使わなければならない。

(2) It is about time ... (そろそろ...すべき時だ) の型にしてしまったものがあつた。この形自体は正しいが、about は後に続く the problem の前で使うものと判断すべきところ。(1) と同様、並べて

みてどこか文法・語法的に破綻していないかどうかを確認することが大切。

(3) We hope the time when peace can be brought will come to the world. としたものがあつた。the time を見てすぐに when を続けたくなったのかもしれないが、後半の come to the world (この世に生まれる) の主語が the time である点が不自然となる。

(4) 日本語の読み換えがポイントだったが、Whether you succeed が主語になる点はよく捉えられていたようだ。しかし後半の how の後を you are patient としたものが目立った。

問題B 条件付き英作文

英文の一部を埋める形式で、2つのイラストの状況(相違点)を把握して的確に描写できるかどうかのポイント。採点は、内容面と文法・語彙の面から減点法で行った。

(1) 内容面で盛り込むポイントは「①どのような場所へ行ったか(どんな場所での経験だったか)」と「②人物の表情から読み取れる気持ちや様子」の2つで、それぞれ3点ずつの配点とした。

(2) 内容面で盛り込むポイントは「①人物の表情から読み取れる気持ちや様子」と「②人物が①のようになった原因である場所の変化[ごみの散乱]」の2つで、それぞれ4点ずつの配点とした。

今回の条件英作文は2つのイラストを比べて述べるもので、両者とも取り上げるポイントが比較的わかりやすかったため概ねよく書けていた。自由英作文では賛否のいずれかの立場に立って書く問題もよく出題されるので、日頃から物事を複数の目線で捉える思考訓練をしておくとうい。

問題C 和文英訳

(1), (2) とともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。細かい文法ミスが目立ったので、短時間で見直しまで終える練習をしておこう。

(1) ○電車で2人分の席を占拠している人を見ると ……6点

○イライラします ……2点

(2) ○こういう人は～と言うのでしょうか ……3点

○立っている高齢者に気づかなかつた ……5点

○スマートフォンに目をやっていたから ……4点

「2人分の」「占拠する」「高齢者」「目をやる」など、簡単そうに見えてなかなか英語にしにくいと思われる表現が含まれている。読み換えてみると意外

に平易な表現で表せることを再確認してほしい。

4 長文読解

具体例が多く盛り込まれた説明文で、文章の構成としては読みやすいものであつたと思われるが、「ヘルス・ツーリズム」というテーマになじみがなく、読みにくいと感じた人も多かつたかもしれない。

(2) ○However, since international travel is so cheap and quick ……5点

○it is now possible to shop around ……4点

○until you find a private health service ……3点

○that is affordable ……4点

since を「…以来; …してから」のように訳している誤りがいくらか見られた。また、shop around の意味合いをつかむのに苦戦した人もいたようだ。

(5) では、誤答として a や d を選んだ人が比較的多かつたようだ。設問文の「述べられていないもの」という指示を見落とした人がいたのだろうか。

5 長文読解

いじめられっ子 Bradley が、Carla とのカウンセリングで自分が Monster と呼ばれていることをそれとなく相談していること、人を差別することを含めた Carla の世の中の見方が「宇宙人」を例にとって述べられていること、会話の最後の方で思わず Bradley が Carla への好意を漏らしてしまうことなどを読み取り、味わってほしい。小説の一部であるが、「登場人物の発言の意図」といった設問は控えた。

(2) 和訳問題。「その人たちには～が見えない」のみで that's only because の部分が抜けたものなどが見られた。

(3) 「その人も自分が怪物だと思ふようになり」「怪物のようにふるまう」の2つのポイントで採点した。後半の「怪物のようにふるまう」の部分が抜けたものが散見された。

(4) 「なぜ醜いと感じるのか」の理由を説明する設問。「美しいと思うもの」や「本物の怪物」について含めるのは的外れ。また「～なので醜いと思ふから」ではまとめ方がまずい。

(5) d の代わりに e を選んだ生徒も見られたが、d は Carla の言わば主張のような内容になっており、この物語の肝になるところである。